

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県公立那賀病院経営事務組合 公立那賀病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透訓ガ	救臨が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	22,708	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

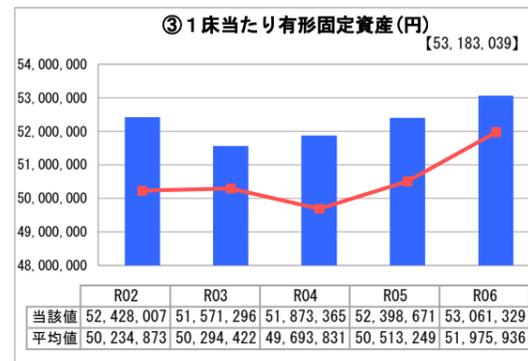
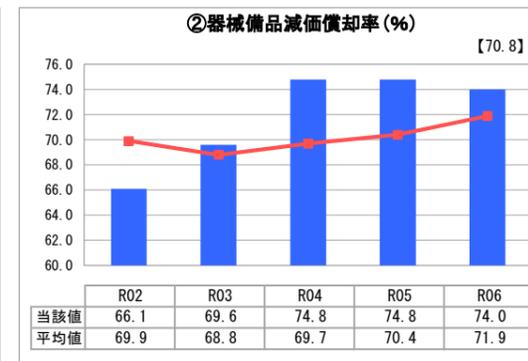
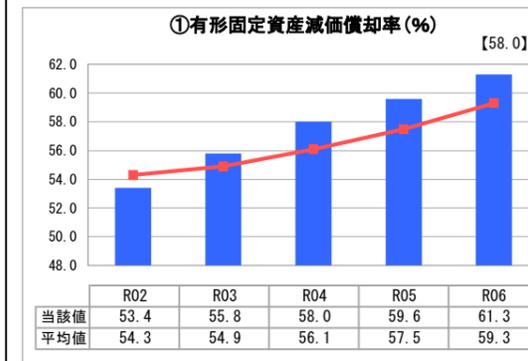
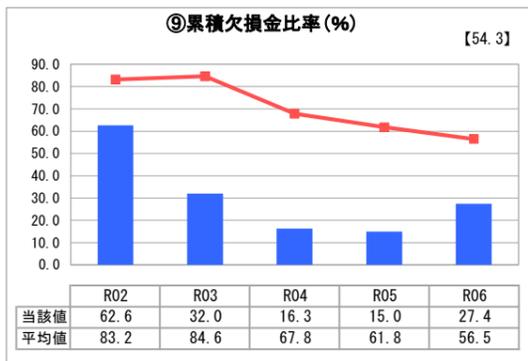
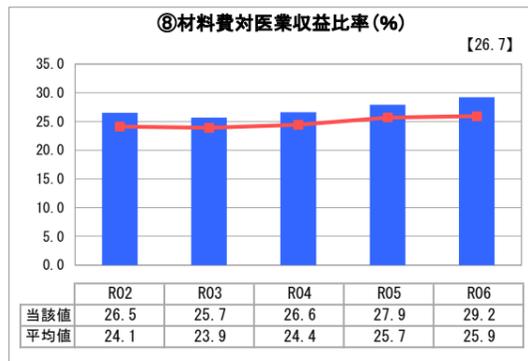
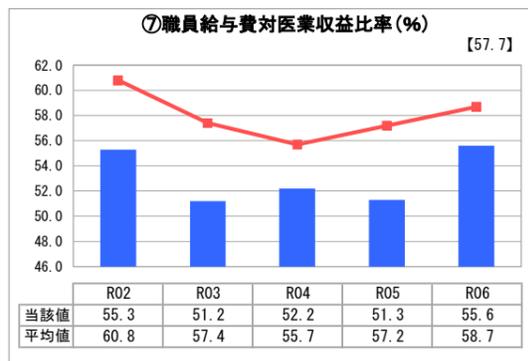
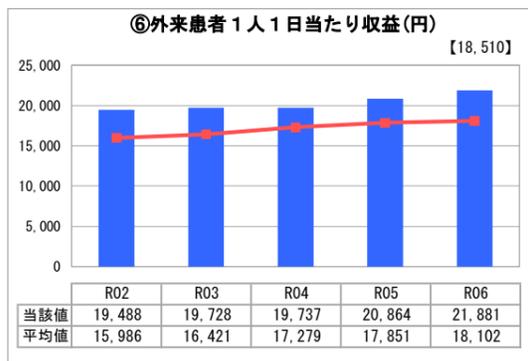
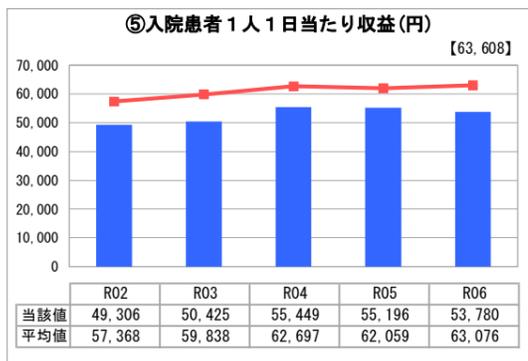
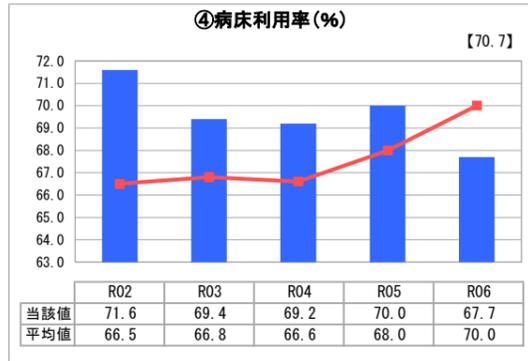
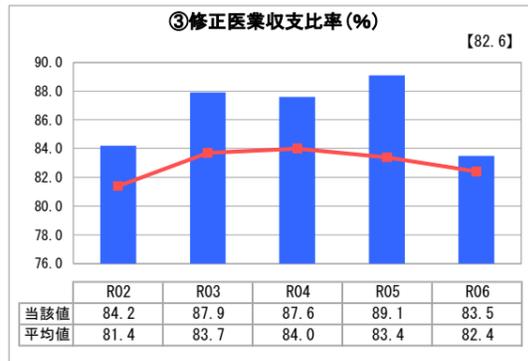
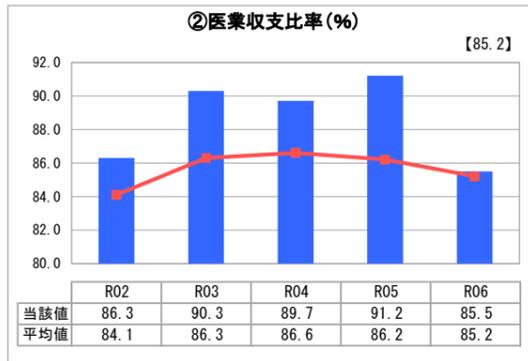
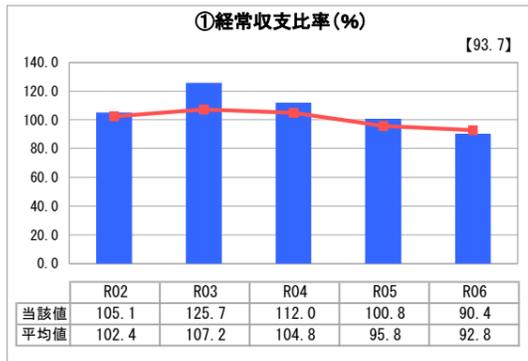
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	304
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
293	-	293

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

那賀保健医療圏における基幹病院として、高度医療・救急医療の提供に努めており地域の開業医との連携も進めている。また地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、感染症指定医療機関など地域における様々な拠点病院としての責務も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度において経常収支比率は100%を下回った。複数の診療科にて常勤医師が確保出来なかったことや、看護師確保も困難も伴い患者受入れの制限などもあり患者数が減少した。また物価高や人事院勧告などによる給与費の増加など支出面での増加もあった。経常収支比率、病床利用率では類似病院平均を令和6年において下回っているが令和2～令和5年度は上回っていること、医業収支比率、修正医業収支比率においては令和2年～令和6年度において類似病院平均値を上回っていること、課題である常勤医師や看護師の確保に努め、経営の健全性の確保につなげていく。

2. 老朽化の状況について

老朽化の指標については、有形固定資産減価償却率が類似病院平均値を上回っている。当院は病院建築後25年以上経過してきているので今後も上昇してくと考えている。最適な医療環境を提供できるよう計画的な整備の実施に努めていく。

全体総括

病院を取り巻く環境が非常に厳しくなってきた影響もあり、令和6年度において経常収支比率が100%を下回る結果となった。人材確保の問題や物価高などが大きな要因であり、病院単体では改善が難しい問題でもあるが、様々な取組みを実行していくことで経営体制を立て直すことに努めていく。厳しい経営状況ではあるが、地域の基幹病院、様々な拠点病院としての役割を担っていること、病院機能評価取得への取り組みなど医療の質向上にも努めている。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。